

感染性の胃腸炎について

腹痛や胃腸炎など同じような症状を訴えても、「腸管出血性大腸菌感染症」「ウイルス性胃腸炎」「細菌性胃腸炎」「胃腸炎」「急性胃腸炎」「流行性嘔吐下痢症」等のいろいろな診断がなされます。

出席停止になるのは、

「**腸管出血性大腸菌感染症**」「**流行性嘔吐下痢症**」などの感染性の胃腸炎です。

感染性の胃腸炎は、どのように感染するの？

感染性の胃腸炎の場合は、ほとんどの場合、患者との接触（便・吐物など）や、汚染された水、食品によって経口感染します。手洗い・うがいを励行し、日常的に清潔を保つことが大切です。

※ハンカチやタオルなどは、個人の物を使用し、貸し借りはしないこと！

ノロウイルスとは？

ノロウイルスは冬の胃腸炎の主な原因で、嘔吐や下痢を引き起こします。食中毒のように、このウイルスに汚染された水や食品、外袋を手にしわりそれを口にすることで感染しますが、風邪のように人から人へも感染します。また、感染しても症状が現れないことがありますので、家族に胃腸炎症状があるときは要注意です。

汚物の処理は？

安易には考えず、感染性の疑いを持って処理します。

素手の処理も行わず、アルコール消毒ではなく、**塩素消毒**を行います。

また、食事時の嘔吐物は、特に注意してください。

お子さんが腹痛等を訴えた場合は、早めの受診をされることをお勧めします。